

低温物流事業

ニチレイロジグループ
https://www.nichirei-logi.co.jp



梅澤 一彦
株式会社ニチレイ 取締役執行役員
株式会社ニチレイロジグループ本社 代表取締役社長

国内No.1の高度な低温物流を世界のスタンダードへ。

社会や顧客の課題に対し、革新的なノウハウを追求し、最適なソリューションを提供。これまで培ってきたお客様の信頼に応えつづけ、低温物流のパートナーとして、かけがえない存在になります。

▶ トップメッセージ

生活基盤を支える食品の物流事業者として、今後も従業員の働き方改革・人財の最大活用を推進していきます。加えて業務革新を遂行し、ソリューションカンパニーとしてのビジネスモデルを確立するとともに、海外事業を拡大し、不透明な環境下においても安定的な成長を実現していきます。

事業規模

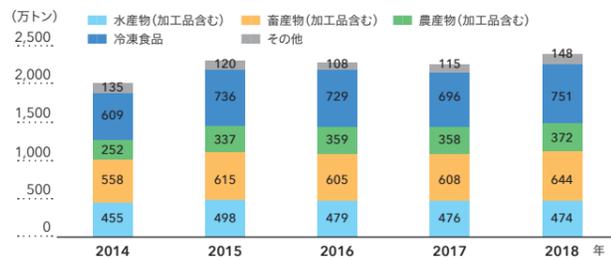
- ・総資産 169,648百万円
- ・グループ会社 国内22社、海外11社(関連会社:国内6社、海外2社)
- ・従業員数 4,237名(国内:2,841名/海外:1,396名)
- ・拠点数 国内115拠点
海外 23拠点(欧州17、中国4、タイ、マレーシア)

- ・主要拠点 (物流センター) 船橋、東扇島、平和島、大阪埠頭、大阪新南港、大黒 (TC) 関西センター、郡山センター

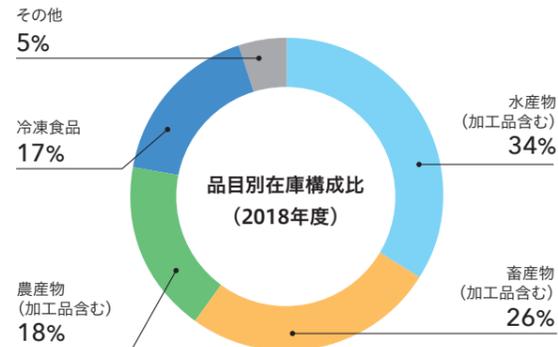
市場環境

輸入畜産物や冷凍食品を中心に、旺盛な保管需要が続く

国内冷蔵業界の品目別入庫数量の推移



出典:日本冷蔵倉庫協会のデータを当社が加工



事業内容

国内冷蔵倉庫設備能力一覧

地域	拠点数	冷蔵能力(千トン)
北海道	7	88
東北	4	64
関東	18	544
中部	10	195
関西	14	278
中四国	12	130
九州	14	176
合計	79	1,475

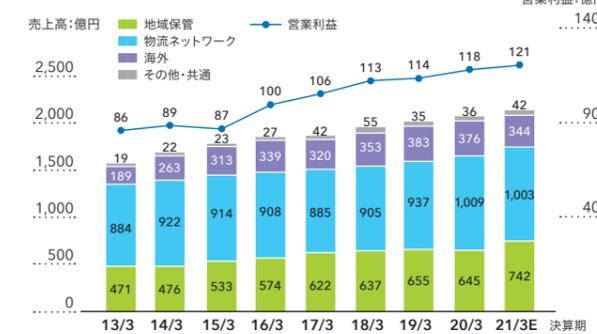
グループの強み

- 設備能力・集荷力**
 - ▶ 保管能力は国内最大級
 - ▶ 物量が多く立地優位性の高い大都市圏のほか、農産・畜産品の生産地にも倉庫を有する
- 多様なサービス**
 - ▶ 全国の保管拠点と配送網を活かし、保管・付帯サービス・配送に至るまでトータルサービスを展開
 - ▶ 大手小売店様向けの配送センターを36カ所運営
- 品質管理・信用力**
 - ▶ 高品質な運営を可能とするノウハウ
 - ▶ ニチレイブランドの信用力をベースに年間約5000社との取引実績

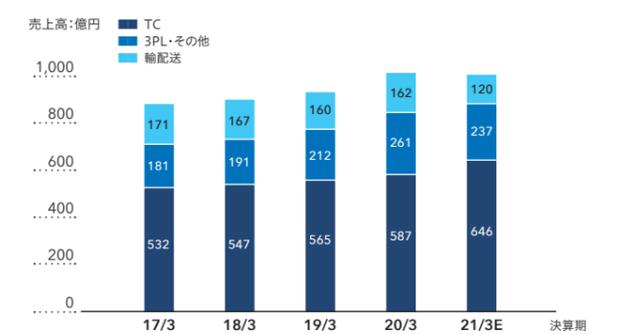
業績の推移

- ・地域保管やTCが堅調に推移し、安定成長を継続
- ・前期は、在庫が高水準で推移したことや、業務改善効果も寄与し増益

業績の推移



物流ネットワークの内訳



2020年度の取り組み

市場環境

- ・コロナ影響により業務用材の荷動きが鈍化、大都市圏の在庫不足に拍車がかかる
- ・構造的な人手不足などから、運送や倉庫内作業のコスト上昇は続く

国内

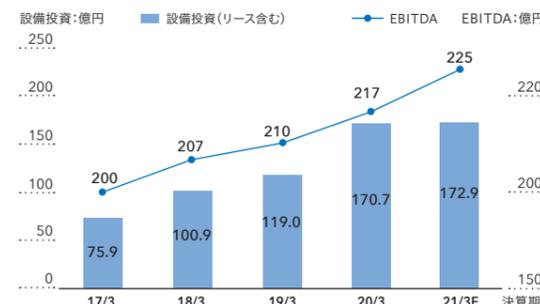
- ・大都市圏や地方拠点の保管・運送機能を最大限に活用し、収益を安定拡大
- ・国内36拠点あるTC事業では、量販店の取扱い物量増加に対応
- ・将来の競争力強化に向け、計画的な設備投資の実施や業務革新のさらなる推進を図る

海外

- ・欧州では、オランダやイギリスの港湾地区の保管機能強化と、内陸地区の運送拠点を整備
- ・中国では、CVS流通事業の拡大に加え、保管・運送などの新たな需要を取り込む

設備投資の状況

設備投資額とEBITDAの推移



TOPICS

名古屋みなとDCが稼働(2020年4月)

総投資額:102億円(内土地17億円) 設備能力:37,294t(F級冷蔵庫 30,892t、低温室6,402t)

